

## 令和 2 年度 武蔵野市地域自立支援協議会の枠組み（案）

会長 岩本操

### ＜はじめに＞

- ◆ 今年度の本協議会・親会は「武蔵野市障害者計画・第 6 期障害福祉計画」策定委員会を兼ねることになりますが、以下は計画策定以外の地域自立支援協議会としての活動方針・活動計画案のご提案です。
- ◆ 昨年度の親会では、今後の協議会（専門部会を含む）のあり方の見直しを含めた協議と障害のある子どもへの支援に関する意見交換を行ってきたところです。
- ◆ 昨年度の協議内容を踏まえて、今年度の協議会構成の見直しが望まれるところですが、この間の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、親会・専門部会とも運営方法に大幅な変更や新たな工夫が求められます。
- ◆ したがって、今年度は協議会（特に専門部会）の構成を変更せず、昨年度と同じ専門部会を継続し、各専門部会の担当委員（親会委員）も引き続きお願いしたいと思っております。
- ◆ 当面は対面での集会や活動が困難であることから、今年度は「活動」より「協議」に重点を置き、予め設定する「協議テーマ」に関する意見・知見を部会で積み重ねて、年度末に報告・提言していただきたいと思っています。
- ◆ 「活動」より「協議」に重点を置く理由は、もちろん新型コロナウイルス感染症の影響が大きくありますが、現在の本協議会の状況からも必要なプロセスだと考えます。各部会の活動が活発になる一方、年間の活動スケジュールに追われ、地域課題についてじっくり話し合う時間が少なくなっている状況があります。ここで一旦立ち止まって、改めて協議会・部会の役割を見直す機会も必要だと思います。
- ◆ 以上を踏まえ、今年度の協議会の枠組みをご提案します。これまで積み重ねてきた協議会の活動を止めないことを第一目標として、今できることに取り組みたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

### 1. 2019-2020 年度 協議会テーマ

当事者とともに、当事者の声を市民に届け、誰もが暮らしやすい武蔵野市を目指す。

※今期（2 カ年）のテーマです。

### 2. 専門部会と担当委員（昨年度と同様です）

- ◆ はたらく部会：安藤委員、長谷川委員、森委員
- ◆ くらす部会：大山委員、佐藤清佳委員、横山委員
- ◆ 権利擁護部会：久保田委員、三浦委員、岩本
- ◆ 相談支援部会：植村副会長、佐藤律子委員、藤原委員
- ◆ 障害当事者部会：荒木委員、福田委員、福本委員

### 3. 親会・専門部会の協議テーマ

#### (1) 親会・部会共通の協議テーマ

「多様な当事者の声を聞くための仕組み・方法を考える」

#### (2) 各部会の協議テーマ

※以下は提案です。各部会の状況と齟齬がありましたらお許してください。委員の皆さまのご意見を受けて検討したいと思います。

※これまで部会が取り組んできたテーマに関する協議を妨げるものではありませんが、今後の協議会運営のために以下を参考としたテーマを設定していただき、部会の意見を寄せていただきたいと思います。

##### ◆ はたらく部会

- ・ 例 1：他市（自立支援）協議会における就労支援に関する専門部会の活動状況を調査し、本協議会「はたらく部会」の今後の活動に向けた選択肢を広げる。
- ・ 例 2：教育機関・就労支援事業（福祉機関）・雇用をつなげる一元化した就労アセスメントの作成・試行について協議する（既存でしたらすみません）。

##### ◆ くらす部会

- ・ 例 1：昨年度親会で意見交換してきた「障害のある子どもへの支援」について、武蔵野市の課題を協議する。
- ・ 例 2：災害時（現在のコロナウィルス感染症の影響も含めて）における障害のある人の暮らしを守るために「今できること」を協議する。

##### ◆ 権利擁護部会

- ・ 例 1：他市（自立支援）協議会における権利擁護に関する専門部会の活動状況を調査し、本協議会「権利擁護部会」の今後の活動に向けた選択肢を広げる。
- ・ 例 2：合理的配慮の提供に関わる武蔵野市の地域課題を具体的にあげ、その改善に向けた方策を協議する。

##### ◆ 相談支援部会

- ・ 例 1：地域生活支援拠点の有効性を高めるための地域ネットワークの仕組みについて協議する。
- ・ 例 2：「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けた武蔵野市の地域課題を具体的に上げ、その改善に向けた方策を協議する。

##### ◆ 障害当事者部会

- ・ 例：現在の新型コロナウイルス感染症の影響下において障害のある人々の生活に発生する具体的課題をあげ、その対策に向けて「今できること」「今後とりくむべきこと」を協議する。
- ・ 当事者部会では、協議会共通のテーマ「多様な当事者の声を聞くための仕組み・方法を考える」のアイデアをより多くあげていただく。

#### 4. 活動計画今後のスケジュール

※当面は対面による親会・全体会の開催が困難なため、具体的なスケジュールが見通せませんが、概ね以下の流れでスタートできればと思っております。

- 5 月中を目処に、本提案について委員の意見を取りまとめ、協議会テーマを設定する。
- 5 月中に部会のメンバーを確定し、部会の連絡方法を定める（ML など）。
- 6 月上旬に、各部会担当委員より、部会メンバーに今年度の協議テーマを紹介し、部会長・副部会長を選考する。
- 当面、ML や zoom などのツールを利用して、協議テーマについての意見交換を開始する。
- 1 ヶ月 1 回（2 ヶ月 1 回）程度の期間で、その間の協議内容やあげられた意見などをまとめ、親会で共有する。
- その後、対面での会合が可能になった時点で、改めてスケジュールを検討する。

先が見通せない状況が続いておりますが、皆様と情報共有しつつ、協議会の活動を進めて参りたいと思っております。

お気づきの点がございましたら、ぜひご発信ください。

今年度もどうぞ宜しくお願い致します。（岩本）